



平成 18 年のこども議会の様子

桑原 公治 議員

こども議会



質問(議員) 町政運営に若者の意見を反映するためにも、若い世代の投票率を上げる必要がある。若者の政治への関心を高めるため、年に一度子ども議会を開催してはどうか。

答弁(教育長) 将来を担う児童生徒に、町のまちづくりについて関心を持たせるためにも、来年度から開催する方向で検討する。

Q 来年度から開催する方向で検討する

質問(議員) 町政運営に若者の意見を反映するためにも、若い世代の投票率を上げる必要がある。若者の政治への関心を高めるため、年に一度子ども議会を開催してはどうか。

答弁(町長) 施設の目的や特性などを考慮しながら検討する。また、各施設でばらつきがある飲食のルールづくりをして住民に周知する。

兼山 益大 議員

町長選挙



質問(議員) 11月の町長選挙に山岡町長は立候補されるのか。

答弁(町長) 多くの町民の方々からのご意見を踏まえ、熟慮の結果、11月の町長選挙に立候補することを決意した。

質問(議員) 今後4年間に臨もうとする「決意の大きさ」「覚悟」はどれほどのものなのか。

答弁(町長) 全身全霊をかけて職務を全うする覚悟での決意である。

Q 決意の程は

A 立候補する

福祉医療

Q 一部負担額5000円を2000円に

A 現時点で減額は考えていない

質問(議員) ひとり親家庭・乳幼児等医療1日5000円の負担額は医療現場で若干の矛盾が生じている。

答弁(こども課長) 助成を拡大するとすれば制度としてどこまでどんな形で助成していくのか課題。



11月1日が町長・町議補欠選挙です

西田 祐三 議員

バスターミナル



質問(議員) 駅周辺の道路網の新たな接続や進入路の改善を図りバスの乗り入れの改善を図っては。

答弁(町長) 駅ロタリに繋がる道路網は、西街区の中央道路を先行し、瀬野川沿いの町道2号は拡幅を考え、明神橋の隅切りは状況を見極めて設置を判断したい。また、バスのアクセス道は現計画どおりとする。

A 現計画の範囲で進める

Q 駅前のバスターミナルのアクセス改善を

Q 海や川と山の防災減災対策を

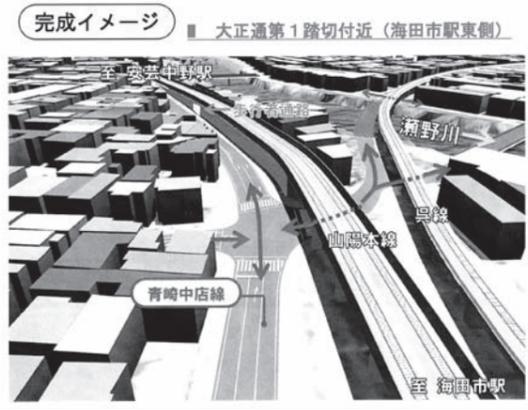
A 国、県と連携し強化を図る

質問(議員) 高潮や津波、浸水、土石流などの防災・減災の対策を。

答弁(町長) 国県と連携し、海や川の護岸のかさ上げ、尾崎川のポンプ増設、土石流対策には砂防ダム設置の要望を行う。集中豪雨への対応は避難情報を適切に伝えるなど防災・減災を図る。



すぐ横に水路が〜!!



JR高架事業見直し案のイメージ図

佐中 十九昭 議員

JR高架事業



質問(議員) 中店第一踏切まで高架を延伸しないことについての代案は。

答弁(町長) 歩行者用の通路を現在の踏切より少し西側に設置する予定。車両は大正矢野線が開通すれば、少し迂回することにはなるが、踏切を通らずに安全に鉄道の南北を行き来する方針予定。

A 少し迂回をすることになる

Q 中店第一踏切までの延伸への代案は

質問(議員) 南北市街地の一体化、交通の円滑化、踏切の安全確保に対する町の方針は。

答弁(町長) 最重要課題と受け止めており、今後広島県と細部を調整してすすめる。

庁舎移転と住民投票

Q なぜ住民投票を行わないのか

A 詳細な事業内容の検討が必要

その他の質問

- 戦争法案(安全保障関連法案)と平和と暮らしについて
- 公共施設の再編等対応について



多田 雄一 議員
通学区域

Q 海田小学校児童は全員海田西中学校へ

A 保護者や地域の意見を聞き検討する

質問(議員) 海田小学校の子どもは地域によって海田中、西中に分かれて進学している。距離的な問題はありますが、6年間一緒に過ごしてきた仲間と同じ学校へ通いたいとの要望がある。選択制も含めて検討してはどうか。
答弁(教育長) 通学時の安全管理などの理由から区域の変更は現在、考えていないが、保護者や地域の意見を聞きながら検討していきたい。

質問(議員) 該当地域の児童や保護者にアンケート調査をして要望を聞いてはどうか。
答弁(教育次長) アンケート調査は考えていないが、PTAとの話し合いの中で意見を聞いていく。

その他質問 ●現海田公民館の活用



みんな一緒に進学したいよ



こうなる前に避難を

住吉 秀公 議員
防災意識の向上

Q 台風接近時などは避難所の事前開設を

A 自主避難申し出まで開設しない

質問(議員) 7月に台風11号が接近した際、広島県内の23市町の内21市町が避難所を事前に開設していた。残念ながら海田町は自主避難の申し出がないからと開設せず、町の防災意識の低さと危機感の無さを露呈した。今後は台風接近や大雨・高潮などにより災害発生の恐れがある場合、避難所の事前開設をしてはどうか。

答弁(町長) 避難所を開設しなかったものの夜間も警戒態勢をしき、自主避難の申し出があれば速やかに対応できる体制であった。今後も同様にする。
質問(議員) 広島豪雨災害の反省が活かされていない。自主避難の申し出を受けてから避難所の鍵を開けて間に合うというのか。
答弁(副町長) そのとおりだ。

その他質問 ●徘徊高齢者等 SOS ネットワーク事業の強化について
●小中一貫教育学校の設置について

大江 康子 議員
瀬野川の防災対策



Q 河川の自然環境維持と治水対策について

A 広島県に適切な対応を要望する

質問(議員) ここ近年、増え続けている中州やその大木、土砂の堆積などの状態で流水能力が落ち、川の決壊や浸水につながるのではないかと、なぜ掘削をしないのかと危惧している住民の声を聞く。町として自然環境維持も大切だが、同時に住民の命を守る治水対策も大切だと思う。この状況下をどのように考えているか。
答弁(町長) 自然保護と治水のバランスを

スを図りながら住民の安全を確保しなければと考えている。これまで、中州の一部除去や樹木の伐採などを実施した管理者である県へ、今後も要望していく。
質問(議員) 流水能力を数値で住民に知らせるべきでは。
答弁(建設課長) 安心をして頂くよう、調査した上で知らせる。



治水対策は大丈夫？



オリンピック目指してガンバレがんばれ

崎本 広美 議員
グラウンド整備



Q 金メダリストを育てるグラウンドを

A 公認の競技場が配置可能か検討

質問(議員) 織田幹雄先生を称え未来を見据えたスポーツ選手が育成できるグラウンドを。
答弁(町長) 海田総合公園の第二期整備区域内に陸上競技場が配置できるか検討する。

答弁(町長) 近隣を調査し最適な助成を検討する。

Q 狩猟担い手への助成を
A 助成方法を検討
質問(議員) 狩猟の担い手不足の解消を。

Q ドッグラン事業に責任は
A トラブル解消に努める
質問(議員) ドッグラン事業のトラブルに備えは。
答弁(町長) 利用契約書に沿って利用頂き、トラブルは当事者間で解決する。

その他質問 ●公共工事について



この先に早く橋をかけて

宗像 啓之 議員

都市計画



Q 瀬野川による町内の分断の解消は
A 都市計画道路の再検討の中で検討する
質問(議員) 都市計画道路の廃止などの整理はどうなっているのか。
答弁(副町長) J R高架事業の縮小協議が優先されて止まっている。高架問題が解決したい行方。
質問(議員) 海田町は、J R・瀬野川・国道2号で分断されている。J Rについては、目標どおりではないが解消の目処がたつた。瀬野川については、ほとんど進展がない。新敵橋を検討して

その他の質問
●住居表示の表示について
●民生行政の手引きの作成について

岡田 良訓 議員

戦争法案



Q 地方自治体をどう守っていくのか
A 役割を全力で果たす
質問(議員) 4月に改定された「新ガイドライン」では、地方自治体にかかわって二つの改正が行われ、アメリカが自国の戦闘のために直接、地方自治体を利用できる文言になっている。こういう事態になったら住民をどう守るのか。
答弁(町長) 防衛に関することは、国政の場で十分に論議されると考えているが、住民の生命と財産を守ると

Q 避難場所に看板設置を
A 10月末までに設置
質問(議員) 住民に避難場所がわかる看板を立ててはどうか。
答弁(町長) 10月末までに設置を終える予定。
この先、地方公共団体の役割は全力で果たしていく。

その他の質問
●J R連続立体交差事業について
●介護保険料について



7,000 人の人文字 (9.13 広島)



投票率が上がるといいな (昨年の衆院選のチラシ)

大高下 光信 議員

投票率



Q 向上のための対策は
A 選挙ごとに街頭啓発やチラシ配布をした
質問(議員) 本町は、国政、地方、町選挙いずれも低投票率で推移しているが、投票率アップのためどのような対策をとったか。
答弁(選挙管理委員会書記長) これまで選挙ごとに懸垂幕を掲げたり、街頭啓発やチラシの配布、町内放送での投票の呼びかけを行ってきた。
質問(議員) 選挙権年齢引き下げについての対策は。
答弁(選挙管理委員会書記長) 町内にある高等学校に模擬投票や出前講座の実施などについてお願いをしている。
質問(議員) 保育所の再編もあり、投票所を見直す必要があるが、投票所を検討し、見直しをする。

その他の質問
●河川等の浚渫について



まず職員から海田に住んでね

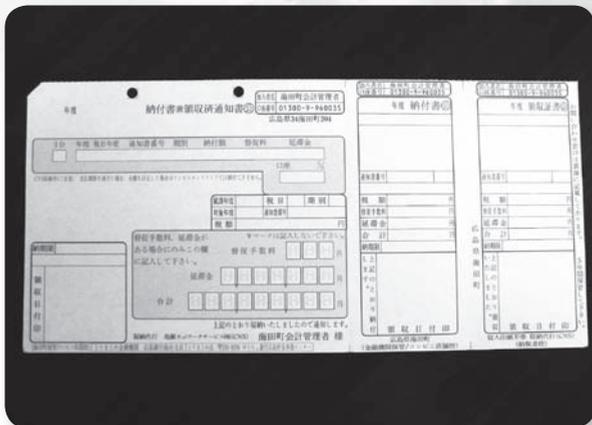
下岡 憲国 議員

地方創生戦略



Q 職員の町内居住率が低いことでの問題は
A 災害時対応や地域活動不参加などである
質問(議員) 地方創生戦略は人口減少を食い止めることを目指す。当町職員の町内居住比率は30パーセント以下と近隣市町と比べ異常に低い。どのような弊害が生じているか。
答弁(町長) 災害時の職員参集や町民としての地域活動不参加などである。
質問(議員) 地域コミュニティとしての自治会は役員の担い手がおらず、このままでは近い将来維持できなくなるおそれがあり、大きな地域課題である。統合や行政からの人的支援、金銭的支援などを検討する必要があるのではないか。
答弁(企画部長) 統合については自治会関係者と相談していく。

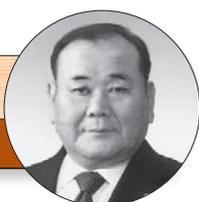
その他の質問
●河川等の浚渫について



納付書です。きちんと確認してね！

前田 勝男 議員

発送書類の確認体制



質問(議員) 過去にも税を払いに来た町民との口喧嘩や、誤計算の納付書送付などについて色々な指摘をした。その都度「厳しく指導する」、「二重チェックをする」などの説明を受けているが、このたびもまた税の過重請求や、子育てクーポンの送付漏れがあった。対応がきちんとできていないから、いつまでたってもすばらしい職員が育たないのではないか。

答弁(町長) 納税通知書の郵送後に課税誤りに気づき、直接謝罪のうえ、正しいものに差し替えた。これまでも適正な課税をするように注意喚起などしていたが、今回の誤りを踏まえ、再度のデータチェックや入力する際に細心の注意を払うことを徹底する。

その他の質問

- 町道整備について
- 連続立交関連問題について
- 介護施設について

西山 勝子 議員

健康寿命対策



Q 「健康寿命延伸都市宣言」する考えは

A 資料を収集、内部で協議し示す

質問(議員) 海田町人口ビジョンに、平均寿命と健康寿命の差を重大課題に掲げられている。町民が健やかに生き生きと暮らすために、宣言をする考えはないか。

答弁(町長) 現在、「第二次健康かいた21」において、健康寿命の延伸を基本理念に掲げ、各種施策に取り組み早期に、資料を収集し協議し示す。

Q 子どもの生活習慣改善事業を

A 検査項目に追加すべく検討する

質問(議員) 学校の定期健康診断で肥満度が高いと判断された児童生徒について、ヘモグロビンA1cと尿酸値検査を追加する考えは。

答弁(町長) 前向きに検討する。

Q 税金など納付書の誤りが多すぎるが

A 細心の注意を払うよう徹底する



健やかに